

＜副業が本業に与える影響を紐解く＞

管理職の約7割が「メンバーの副業は本業に良い影響を与えている」と回答

～副業解禁企業の管理職の4人に1人が「副業をしているメンバー」を抱え
副業が、本業の生産性・スキル・モチベーションの向上に寄与していることが明らかに～

転職サービス「[doda](#)」などを提供するパーソルキャリア株式会社が運営する、[プロフェッショナル人材の総合活用支援サービス「HiPro（ハイプロ）」](#) < <https://hipro-job.jp/> >（編集長：鍋木 陽二郎）は、副業を解禁している企業の管理職1,709名のうち、副業を行っているメンバーを抱える管理職200名を対象に、「企業の副業人材の実態と副業実施者の本業への影響」について調査を行いましたので、その結果をお知らせします。

＜調査背景＞

2022年7月に、厚生労働省より「副業や兼業に関するガイドラインの改定案」が発表され、企業に対し副業・兼業を容認しているか否かの実態、さらに、条件付きで副業を容認している場合には、条件の内容も自社ホームページなどで公表することが求められ、国を挙げて副業・兼業を促進する動きがなされています。また、コロナ禍でリモートワークが促進されたことなどが後押しとなり、副業を始めたいと考える個人も増加傾向に。企業・個人ともに副業への関心はますます高まっています。一方で、副業が本業へもたらす効果やチームへの影響が見えづらいことから、「本業がおろそかになるのでは」「生産性が落ちるのでは」といった不安から副業推進に踏み切れないという声から上がっていることも現状です。

そこで今回、副業が本業にもたらす影響を紐解くことで、外部人材活用促進の後押しをしたいという思いから、副業を解禁している企業の管理職を対象に「副業人材が本業に与える影響」について調査を実施しました。

【調査結果サマリー】

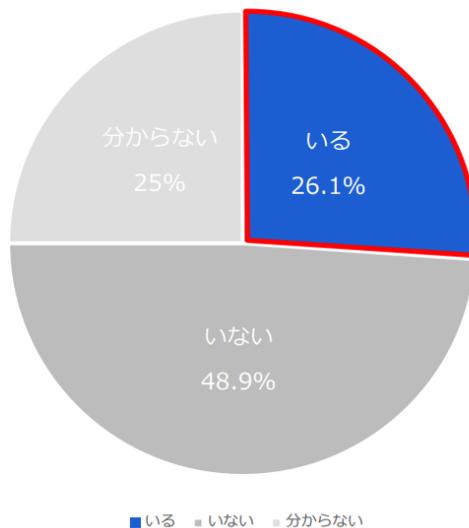
- 副業解禁企業の管理職の26.1%が、副業を行っているメンバーを抱えていることが明らかに
- 管理職の66.5%が、「副業を行っているメンバーが本業に良い影響を与えている」と回答。
該当メンバーの副業内容は「経営企画（24.8%）」「マーケティング/PR（21.8%）」「商品/サービス企画（21.1%）」が上位
- 管理職が感じる、副業を行っているメンバーに対する本業への良い影響TOP3は、「スキルが上がった（58.6%）」「生産性が上がった（49.6%）」「モチベーションが上がった（48.9%）」
- メンバーの副業が本業への良い影響を与えるようになったタイミングについて管理職の42.1%が、メンバーが副業を始めて「3カ月以内」と回答
- 副業者自身も、63.5%が「副業が本業に良い影響を与えている」と感じている

＜調査結果＞

◆ 副業解禁企業の管理職のおよそ4人に1人が、配下メンバーに副業者がいることが判明

副業を解禁している企業の管理職を対象に、「配下メンバーで副業を行っている人がいるか」を聞いたところ、「いる」と回答した人は26.1%に及び、およそ4人に1人が、副業しているメンバーを抱えていることがわかりました。（【図1】参照）

【図1】 副業人材の有無（単一回答、N=1709）



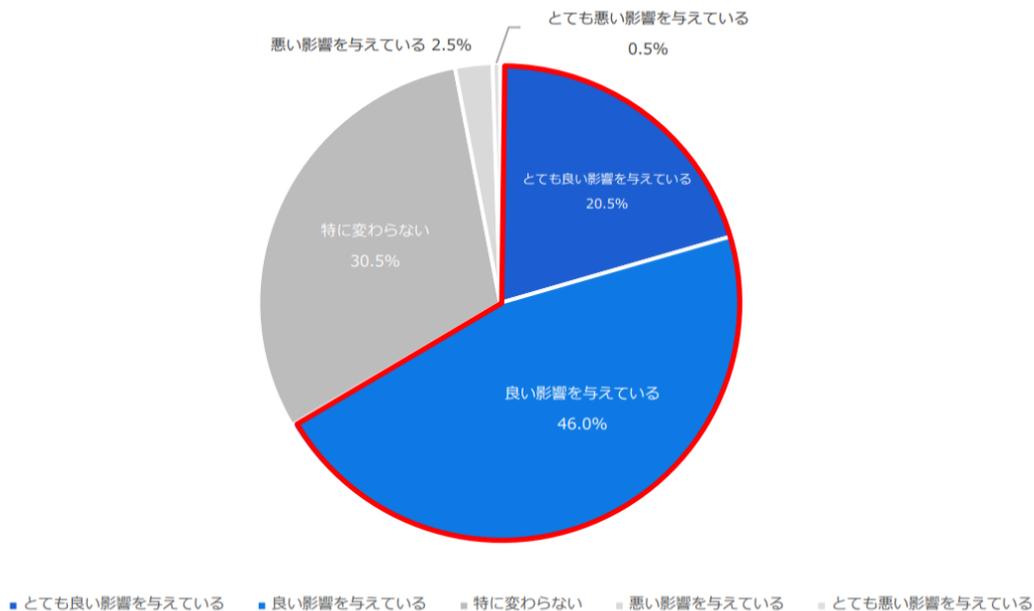
「HiPro」, 「企業の副業人材の活用実態と副業実施者の本業への影響調査」(2023.3)

◆7割近くの管理職が、メンバーの副業が“本業へ良い影響を与えている”ことを実感

副業を行っているメンバーを抱える管理職に、「メンバーの副業が本業に与えている影響」を聞いたところ、66.5%が「良い影響を与えている」と回答。多くの管理職は副業が本業へ良い効果をもたらすと感じていることが伺えます。

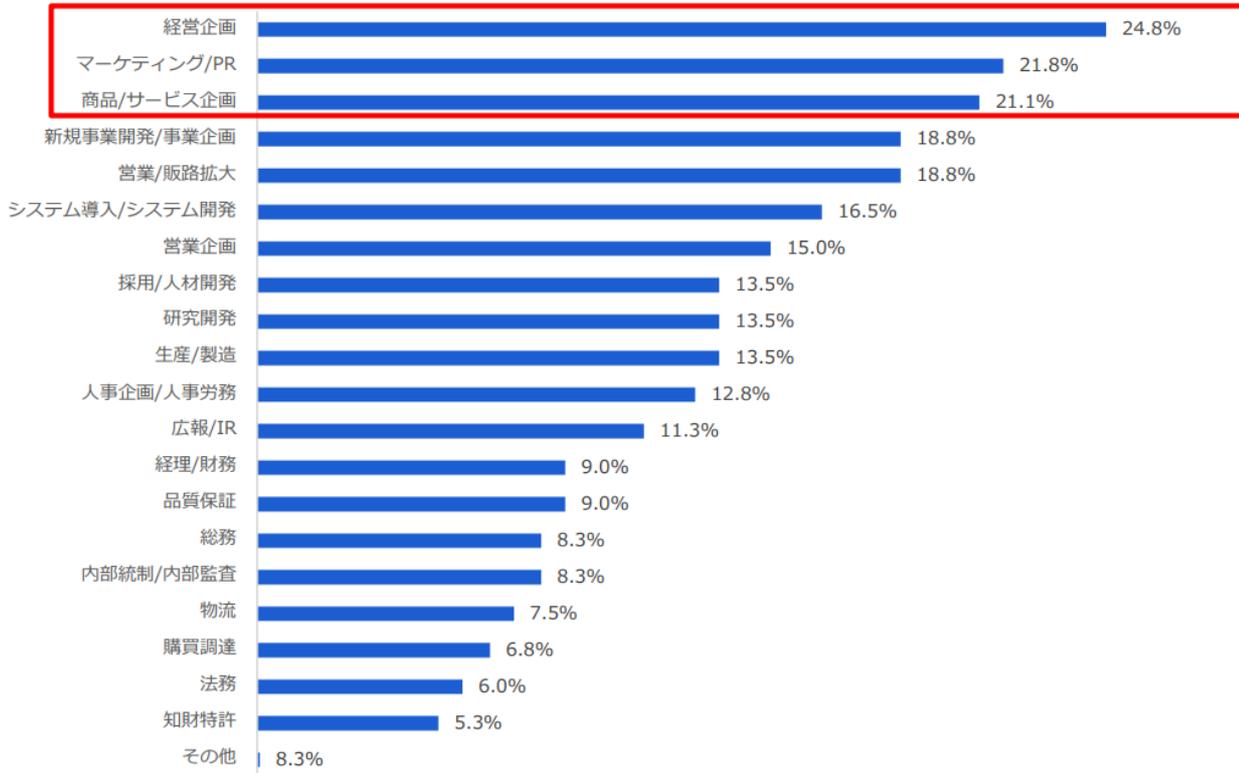
また、本業に良い影響を与えているメンバーの副業内容は、「経営企画（24.8%）」「マーケティング/PR（21.8%）」「商品/サービス企画（21.1%）」が上位に挙がる結果となりました。（【図2】、【図3】参照）

【図2】 メンバーの副業が本業に与えている影響（単一回答、n=200）



「HiPro」, 「企業の副業人材の活用実態と副業実施者の本業への影響調査」(2023.3)

【図3】メンバーが“副業で”携わっている主なテーマ（単一回答、n=133）

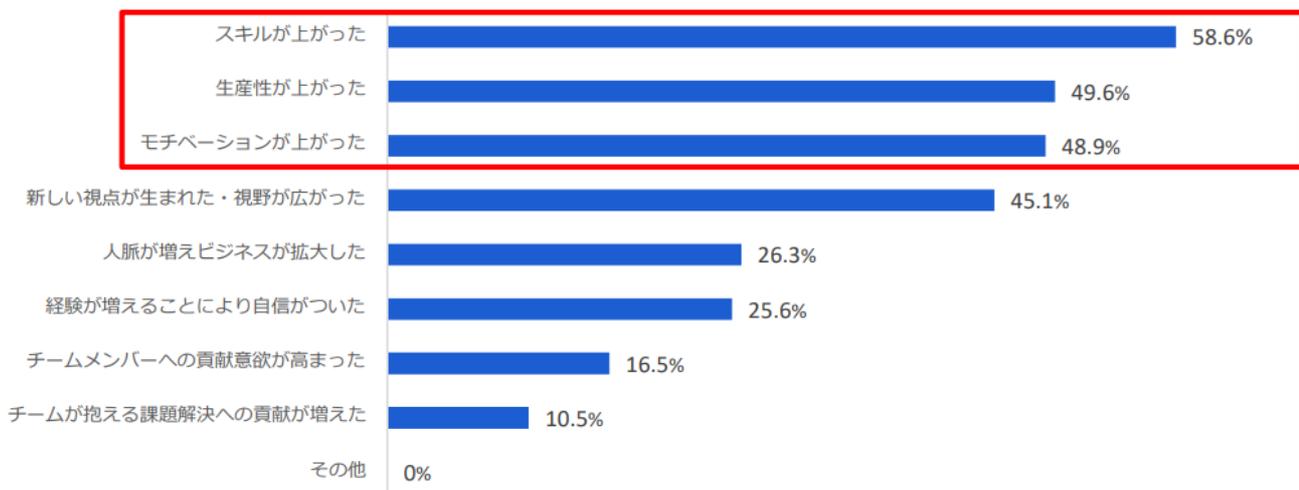


【HiPro】、「企業の副業人材の活用実態と副業実施者の本業への影響調査」（2023.3）

◆ 副業が本業へもたらす良い影響TOP3は、「スキル」「生産性」「モチベーション」の向上

同じく管理職に、「本業への良い影響の具体例」を聞いたところ、「スキルが上がった（58.6%）」「生産性が上がった（49.6%）」「モチベーションが上がった（48.9%）」が上位に挙がりました。（【図4】参照）

【図4】メンバーの副業がもたらす本業への良い影響（複数回答、n=133）

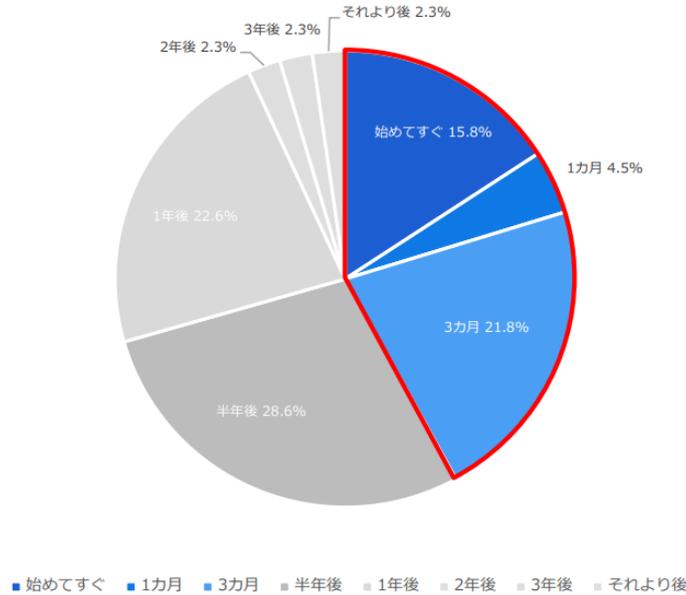


【HiPro】、「企業の副業人材の活用実態と副業実施者の本業への影響調査」（2023.3）

◆管理職の半数近くが、メンバーが副業を始めて「3カ月以内」で本業への良い影響を感じる

また、「良い影響を感じるようになったのは、メンバーが副業を始めてからどれくらいのタイミングか」を聞いたところ、**42.1%**が「始めてすぐ～3カ月以内」と回答。早期から本業に良い影響を与え始めていることが明らかになりました。（【図5】参照）

【図5】メンバーが副業によって本業に良い影響を与え始めたタイミング（単一回答、n=133）

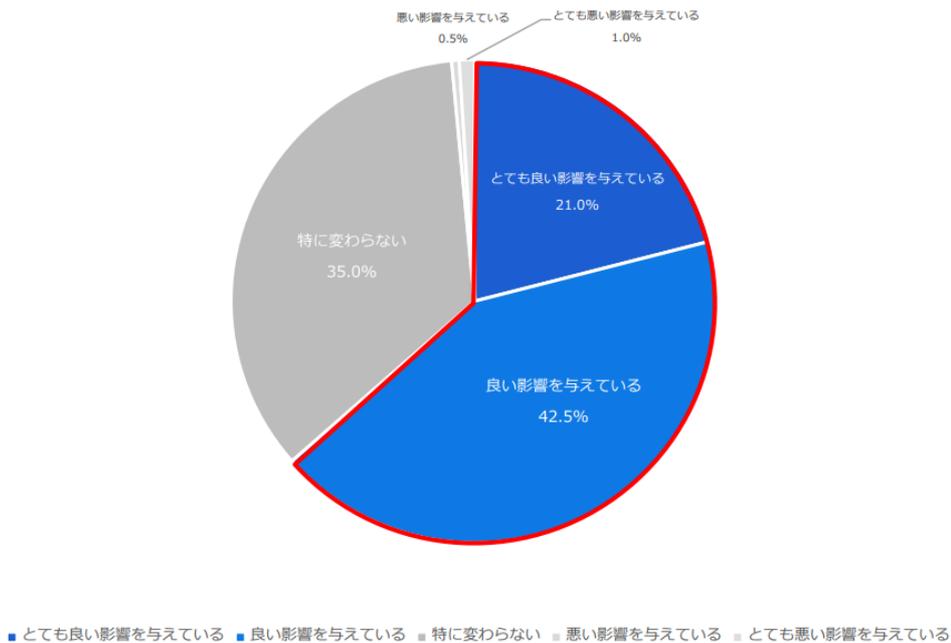


【HiPro】、「企業の副業人材の活用実態と副業実施者の本業への影響調査」（2023.3）

◆副業者自身も、63.5%が「副業が本業に良い影響を与えている」と回答

一方、副業を行っているビジネスパーソンにも「副業を行ったことによる本業への影響」を聞いたところ、**63.5%**が「良い影響を与えている」と感じていることがわかりました。（【図6】参照）

【図6】自身の副業が本業に与えている影響（単一回答、N=200）



【HiPro】、「企業の副業人材の活用実態と副業実施者の本業への影響調査」（2023.3）

■「HiPro」編集長 鍋木 陽二郎（かぶらぎ ようじろう） コメント

2021年にパーソル総合研究所が実施した「第二回 副業の実態・意識に関する定量調査」によると、企業が副業解禁を踏みとどまる理由の上位に、「自社の業務に専念してもらいたいから」（49.7%）「疲労による業務効率の低下が懸念されるから」（42.1%）といった副業がもたらす本業への影響を懸念する声が挙げられています。しかし、本調査によって、副業が本業へプラスの効果を生み出していることが明らかになり、これは、社員や配下メンバーの副業実践に対し不安に感じている企業や管理者にとって副業推進を後押しする要因になり得るのではないのでしょうか。

副業によりスキルを磨くことで、本業にもよい影響を与えるという好循環が生まれ、結果的に個人・企業の成長に繋がると考えています。また、副業が浸透することは、多くの企業が抱える労働力不足の解消にも寄与するため、今後より副業が当たり前の社会となることを期待したいと思います。



【プロフィール】

2001年株式会社インテリジェンス（現：パーソルキャリア）入社。

企業の採用支援や、転職希望者のキャリア支援などを経験し、その後複数の部署でマネジメントに従事。2011年に、プロ人材による経営支援サービス「i-common」（現：HiPro Biz）を立ち上げ、事業責任者として組織を牽引し、2021年10月には執行役員に。2022年5月、業界初となるプロフェッショナル人材の総合活用支援サービス「HiPro（ハイプロ）」の立ち上げを行い、HiPro編集長に就任。

■調査概要

集計対象数：全国の20～60代男女のうち副業を解禁している企業の管理職 1,709名および、自身が副業を行っているビジネスパーソン 200名

調査手法：インターネット調査

調査期間：2023年3月11日～3月13日

調査機関：シグナルリサーチ

【本リリースの引用・転載時のお願い】

調査結果を引用いただく際は【パーソルキャリア プロフェッショナル人材の活用総合サービス「HiPro」調べ】を引用元として記載ください。

■プロフェッショナル人材の総合活用支援サービス「HiPro」について < <https://hipro-job.jp/> >

人生100年時代への突入、コロナ禍でリモートワークが普及・浸透したことなどにより、はたらき方や雇用のあり方が大きく変わってきています。企業を取り巻く環境も劇的に変化し、産業構造も変わりつつあります。こうした中、複雑なビジネス課題を解決するためには、企業と従業員の雇用契約だけでは対応しきれない状況も生まれています。こうした現状を変え、新しい人材活用（タレントシェアリング）を当たり前にするために誕生したのが、「HiPro（ハイプロ）」です。「HiPro」は「スキルを解放し、社会を多様にする。」をパーパスに、企業は課題解決に必要な人材と出会うことができ、個人は自分のスキルにあったプロジェクトを探すことができる、業界初のプロフェッショナル人材の総合活用支援サービスです。「HiPro」の展開により、これまでの経験とスキルを生かしながら自身の可能性を広げたい個人と、複雑化する課題に対応したい企業に選択肢を増やし、社会を多様にしていきます。

■パーソルキャリア株式会社について < <https://www.persol-career.co.jp/> >

パーソルキャリア株式会社は、一人々に「はたらく」を自分のものにする力を－をミッションとし、転職サービス「doda」やハイクラス転職サービス「doda X」を通じて人材紹介、求人広告、新卒採用支援などを提供しています。2022年5月にはプロフェッショナル人材の総合活用支援サービス「HiPro」を立ち上げ、副業・フリーランス領域にも

問い合わせ先 パーソルキャリア株式会社 広報部

TEL：03-6757-4266 FAX：03-6385-6134 koho@persol.co.jp

本格参入。グループの総力をあげて、これまで以上に個人の「はたらく」にフォーカスした社会価値の創出に努め、社会課題に正面から向き合い、すべての「はたらく」が笑顔につながる社会の実現を目指します。

当社のミッションについて：https://www.persol-career.co.jp/mission_value/detail/